

R5 なんと未来ミーティング<高校生>

南砺の未来をつくるビジョンワーク

実施報告書



令和6年1月25日

株式会社人づくり・学び舎 作成

1. 事業概要

(1) 背景

地方における少子高齢化と急激な人口減少は年々深刻さを増している。南砺市においても若者の流出に歯止めがかからず、人口減少が加速度的に進行していることは、非常に大きな社会課題の一つである。若者が流出する要因と、若者が南砺市へ戻ってくる要因を探るために昨年度に引き続き、南砺市内の高校に協力を得て、高校生の実際の声を聞く広聴事業を通じて収集された意見を南砺市政、施策立案に活かすために本事業を実施した。

(2) 目的

地域の人口の社会移動を分析することは容易ではないが、若者のライフステージ（進学・就職・結婚・子育て等）に合わせた価値観の変化が選択行動に及ぼす影響を理解することで、市外・県外へ出た若者が地域へ戻るという選択をするきっかけを得ることができると考えた。人口増をねらう様々な施策（Uターン、Iターン、Jターン）の中でも、特に地元の魅力を再認識できることで、Uターンへの動機づけとなり得る。本事業を通じてみえてくる若者の意識や行動を分析し、若者から「魅力あるまち」と認識され、「住みたくなるまちづくり」推進のためのヒントを得る。

2. 実施概要

富山県立南砺平高等学校（普通科3年）の協力を得て、広聴事業「なんと未来ミーティング〈高校生〉」を授業形式で実施。高校生の率直な意見を聴くために、`自分ごと`として、自分自身の将来を考えるワークショップ形式をとり、①個人で考える場面、②グループで話をする場面、③全体に共有する場面を設け、意見交換を通じて、様々な知識や価値観を学びあう時間を目指した。

将来的な展望を含む「住む場所を選ぶ」行為は、個人的な事情や理由が大きいと想定されるため、あえて意見を集約することせず、個別の意見の収集をすることで、高校生の意識を映し出すことを大切にした。

意見の収集は、以下の3点より行った。

- A) 個人ワーク時に使用したワークシート
- B) グループディスカッション時に使用した模造紙
- C) 授業終了時アンケート

日時：令和5年12月19日（水）9～11時

場所：富山県立南砺平高等学校

参加者：普通科3年（19名/23名中） 男性：11名 ・女性：8名

南砺市内在住：11名 / 市外在住：8名【砺波4名、高岡1名、県外3名】

(1) 当日の流れ

1. オリエンテーション(※1)
2. 個人ワーク:「自分の将来をイメージする」(※2)
3. グループワーク:「住む場所を選ぶ」(※3)
4. 発表:グループごとに発表。(※4)
5. 個人作業(アンケート)(※5)

※1. 高校生の率直な意見を聴くための工夫として、使用するスライドや言葉の使い方等を高校生向けにアレンジした。冒頭のオリエンテーションで将来像をイメージしやすくなるような投げかけを行い、グループワークへと自然とつなげるように工夫した。

※2. 個人ワークでは、10代~60代までの自分自身のライフステージの変化を考えるためのチェックリスト(個人ワーク)を使用し、年代ごとにどのような意識変化が起きるかを考察できるようにした。

※3. 上記を踏まえて、個人は「ライフステージの変化によって意識変容が起き、またそれに伴って行動変容が起きる」ことを話し合いを通じて疑似体験してもらった。それらを各班ごとに準備した模造紙(ライフステージが印刷されたもの)を使用し、全員の意見を可視化しながら、対話を深めてもらえるよう工夫した。

※4. グループのメンバー全員で発表してもらった。グループでの意見は、クラス全体で共有することで、様々な選択における価値観の違いに対する理解(多様性)を深めることができた。また、自己理解を深めたり、多様な視点から地域のもつ価値を再発見することができた。今後、どのような観点で「住む場所」を選ぶ必要があるのか理解し、また選択肢をもつことで、より自分にとって有益な人生の選択が出来るようになる。

※5. 授業全体を通じて気付いたことや感じたことを知るために、個人アンケートを実施し、個々の意見収集を行った。

【(特記事項) 今回の未来ミーティング(高校生)における注釈】

・今回開催した南砺平高等学校の特色として、地域の中における活動が非常に顕著であることから、「地域」への関わり方、認識の仕方において、他の高校とは有意差があることが想像できる。

・高校生にとって、「将来、自分自身が行う`住む場所を選ぶ、`ということを考える」ことは、あくまでも現段階における予想でしかなく、これが現実起きるかどうかという観点で見ることができない。

・今回ワークやアンケートで出された意見は、高校生の目線を通して見ている「社会の姿」であり、家族や地域の身近な大人の姿が投影されていると考えることができる。

・また、高校生の視点の「どのような暮らし方を望んでいるのか」、また「地域の良さ」や「課題」などは若者がまちへ戻る(戻らない)ヒントとなり得ると想定している。新しい施策立案や情報発信の仕方を工夫することにより、本事業での成果を活かすことができるものと考えられる。

(2) 個人ワークの集計結果 「自分の将来をイメージする」

住む場所を決める時、自分が気になるポイント、意思決定の決め手になる項目

| | | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
|-------|----|----------|------|-----------|-----------|-----------|----------|
| 住む／地域 | 1位 | 環境 | 環境 | 環境 買い物 | 環境 買い物 | 環境 買い物 | サポート |
| | 2位 | 買い物 | 買い物 | 子育て・介護 | 子育て・介護 | サポート | 環境 |
| | 3位 | 人(友人・家族) | サポート | サポート | サポート | 子育て・介護 | 人(友人・家族) |

- ・年代に関わらず、すべて「環境」が上位にきている。豊かな自然環境の中での育ちや学びの場でもあり、環境は非常に重要なものと感じていることが分かる。
- ・日常生活に必要な物が買えることに対する意識も高い。
- ・人やサポート等の項目から、自分の周囲の人との人間関係や支え合いが必要であることも認識できている。
- ・30代～50代は、子育て・介護年代だと意識していることがわかる。

| | | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
|------|----|-------|------|------|------|------|-------|
| 働く | 1位 | 給料 | 給料 | 給料 | 労働条件 | 労働条件 | 労働条件 |
| | | 労働条件 | | | | | |
| | 2位 | 好き | 労働条件 | 労働条件 | 給料 | やりがい | 給料 |
| | | | スキル | | | | 家から近い |
| | | 好き | やりがい | やりがい | やりがい | 給料 | やりがい |
| | 3位 | 家から近い | やりがい | やりがい | やりがい | やりがい | 給料 |
| やりがい | | 好き | 好き | | | | |

- ・給料や労働条件など、働く上では、やりがいよりも待遇面が重要であると考えていることが分かる。

| | | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
|-----------|----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 活動(趣味・文化) | 1位 | 環境 | 環境 | 環境 | 環境 | 環境 | 環境 |
| | 2位 | 人とのつながり | 人とのつながり | 人とのつながり | 人とのつながり | 人とのつながり | 人とのつながり |
| | | | | | | | 支援 |
| 3位 | 学び | 情報 | 情報 | 情報 | 支援 | 情報 | |
| | 支援 | 学び | 支援 | 支援 | | | |

- ・趣味や文化的な活動を行ううえで、環境や人との繋がりが全年代において上位にきている。このことから、個々の活動よりもいろんな人と共通の活動と一緒にいることをイメージしていることがうかがわれる。

今回のアンケートで特徴的だったのは、

- ①「環境」重視型であること。
 - ②年代ごとに見たときに、30代～50代で、子育て・介護を意識していること。
 - ③仕事は、好きなことよりも「待遇面(給与・労働条件)」を重視していること。
- 自然豊かな環境の中で、周囲の人と助け合いながら、生活をする人々が想起される。

個人ワークの結果より、南砺平高等学校へ通う高校生から見た、地域の魅力として、「環境」、「人とつながり」が自分自身の人生において重要であると考えている様子が見えてくる。

これは南砺市のもつ「豊かな自然」「住民同士が支え合う地域」の姿を、好意的に受け取っていると考えられる。

一方、ライフステージにおいて「子育て」や「介護」など、家族をサポートする時期において、子育てしやすい、介護しやすい地域であることを、もっとわかりやすくPRすることは、有意義である。

→人生の選択をするうえで必要なタイミングで、わかりやすくPRすることが大切。(媒体・メディアの工夫)

(3) グループワーク 意見 「自分のターニングポイントでの重要ポイントは？」

進学

自分が求めているモノがどれだけ得られるか / 勉強しやすい環境 / 親と先生の手厚いサポート / 環境
県外 / 県内には自分が取得したい資格を取れる学校がなかった / 将来的に役立つことを学ぶ / 資格
お金がかかる / 学ぶ内容 / 好きなこと / 学び / 自分がやりたいこと / 家から近い / 場所

就職

自分の個性を活かせる / 人間関係がいいかどうか / 飲み会が楽しいか / 資格がとれる / 楽しい /
やりがい / 店(日用品)が近い / お給料がいい / 残業のないホワイトな会社 / 産休・育休など福利厚生
退職金があるか / 学校で学んだ知識を活かせる場所 / 働き甲斐 / 愛 / 好きなことができる /
社内の雰囲気がいい / 家から近い

結婚

愛 / お金 / 助け合い / 金持ち / 趣味があう / 家事に協力的 / 相手と価値観が合うかどうか / 優しさ
謙虚さ / 運命 / 一緒にいて楽な感じ / 当たり前のできる人 / 多様性 / 話が合う / 趣味をわか
ってくれる / 周りのサポート(親・パートナー・ママ友・ベビーシッター) / お給料がいい(子供の将来のため
に必要)

子育て

充実したサポート / 協力して子育て / 日用品を買うところが近い / 子育て環境(保育園) / 補助金 /
愛 / 住みたいと思う場所の助成制度 / 地域がどれだけ協力的か / 施設の充実度 / 住む環境 /
お金がかからない / インターナショナル / 子育て支援 / 幼稚園、小学校 / 環境(病院が近くにある)
教育環境が整っている /

地域

大きな店 / 助け合い / 地域の伝統をつなぐ / 協力 / 交友の場があるか / アットホーム / 安全 /
支援してもらえるか / 友達が作れる / 都会 / コンビニやスーパーが近い / 人間関係 /
あったかい人が多く楽しいところ / お店の多さ 行事(地域の人との関わり)

介護

近くに病院がある / 補助金 / 趣味ができる / 医療サポート / 無理しない / しょい込まない / 楽に生活できる / 便利さ(交通など) / 施設がある / 地域の支援がある / 医療費がかかる / 老人ホーム / 話をちゃんと聞いてくれるか / 福祉施設のレビュー / 介護サービスが整っている

(4) アンケート集計結果・分析(別紙あり)

《設問》

- ① 自分は将来、どんな場所に暮らしたいと思いますか？
- ② あなたにとって、「暮らしやすい」または「暮らしにくい」と感じるのはどんなところですか？
 - ・「暮らしやすい」と感じるのはどんなところ
 - ・「暮らしにくい」と感じるのはどんなところ
- ③ 「地域」という言葉に対するイメージはありますか？ それはどんなイメージですか？
 - ・あなたの住んでいる地域の好きなおところはどんなところですか？
 - ・あなたの住んでいる地域の好きじゃないところはどんなところですか？
 - ・もっとこうだったらいいのに…！ ということはあるですか？
- ④ あなたにとって「理想の大人」はどんな人ですか？
 - ・どんな大人になりたいですか？

(注釈) グループワークを実施後にアンケートをおこなっているため、グループの中で出た意見等、同じ文言が複数回出現します。そのため、内容と意見数の相関関係を考慮してみる必要があります。

《回答》一部抜粋

質問「自分は将来、どんな場所に暮らしたいと思いますか？」

心がおちつけて、人と人の交流がよい場所
人と人が助け合える場所
色々な施設があり、生活において不便がないところ
明るい活発、メリハリ

質問「あなたにとって、暮らしやすいと感じるのはどんなところですか？」

人と良い関係を築く
暮らしに必要な物が揃った店が近場にある
人とのつながりがたくさんある

質問 「あなたにとって、暮らしにくいと感じるのはどんなところですか？」

ほしいものすぐ手に入らない

人間関係で悩む

学校などが近くにない

治安が悪く、汚くて、ゴミが落ちてて、暗くて、ギスギスしているところ

質問 「地域という言葉に対するイメージはありますか？ それはどんなイメージですか？」

協力しあう みんなで何かをする 支え合う

田舎 帰る場所がある

人との交流 人々の繋がり 仲が良い

質問 「あなたの住んでいる地域の好きなのところはどんなところですか？」

自然がきれい 冬の景色が美しい

居心地がいい

人があたたかい 地域の人優しい 地域の人と近い関係

伝統が残っている お祭りがある

質問 「あなたの住んでいる地域の好きじゃないところはどんなところですか？」

遊ぶところがない

バス・電車など近くにない

支援してるかしてないかわからないところ(政策とか)

ほしいものが遠くに行かないと買えない

質問 「もっとこうだったらいいのに…！ ということはありますか？」

子供が多ければいい

ボランティアをしたほうがいい

スーパーやコンビニが近いとよかった

質問 「あなたにとって、理想の大人、はどんな人ですか？」

自ら考えて行動する人

誰かにとって価値ある人間

優しくて頼りがいのある大人

問題を自分で解決できる人

子供心を忘れていない

芯もあるし謙虚

責任感もあるし仕事に一生懸命取り組む

質問 「どんな大人になりたいですか？」

決めたことをしっかり実行できる人
余裕のある人 お金の使い方が上手い
自分の夢をかなえられる大人

3. なんと未来ミーティング《高校生》をまちづくりへ活かすために

昨年度に引き続き実施した「なんと未来ミーティング」を通じて収集できた意見は、現状の南砺の素晴らしさ「豊かな自然」「助け合う人々」「地域での交流」をよいものとして受け入れていることが分かった。これまで育ってきた環境、周りの大人の姿を好意的に受け止めている様子が伺える結果だった。一方で、生活面での不便さ（日用品の買い物、交通）を口にする生徒が少なからずいることが分かる。南砺市内の中でも地域内における生活利便性の差は存在しているため、若者から子育て世代、高齢者まで幅広い世代のニーズであるようにも思われる。

これからの社会においては技術革新が進み、生活の利便性が高まることも想定できるため、今後は改善される可能性もあるものの、広い意味においての生活インフラを整えることと地域に人が残ることは関連性が想定できる。行政として市民の声にどこまで応えることができるかを若者たちも見ているのではないかと。

既にある南砺市・地域の良さを、若者たちが理解している事自体は大変すばらしい事であり、これまで思われていたような単純な「都会への憧れ」だけで地域外へと出ていっているのではなく、必要な学びの場所・選択肢がないと感じることや、生活に必要な基盤的な機能が地域の中に失われたときに地域外へ出ていくことを検討するのではないかと思われる。

今ある南砺市の魅力をより一層発揮するためにも、地域・市民の中にあるニーズに細やかに対応していくことが地域を支える力につながっていくことを提示したい。本事業において収集された意見は各方面で活用していきたい。

◎富山県立南砺平高校ホームページ

<https://www.taira-h.tym.ed.jp/>

◎メディア掲載

《新聞》 北日本新聞

